

連文

R E N B U N



青木繁を偲んで 第70回けしけし祭

けしけし祭り、言わずと知れた青木繁の碑前祭です。平成31年3月24日(日)に開催された第66回けしけし祭り以来開かれなかったけしけし祭りが令和5年3月26日(日)、順光寺とかぶと山に於いて4年ぶりに開催されました。

さかのぼること昭和23年、ともに上野の美術学校で学んだ知己坂本繁二郎の筆になる「母います国」の歌碑が兜山(けしけし山)に建てられました。それは薄幸の天才に捧げる哀悼慕情の石碑でした。その序幕には福田たね、福田蘭重も参列し、そのときを始まりとして、主催団体を久留米連合文化会にうつしながら今日まで営々と続いているのがけしけし祭りです。以下祭式次第を列記してみます。

1、会式の言葉
向坂万基子(久留米連合文化会代表理事)
2、献酒、原口新五(久留米市長)・石井俊一(久留米市議会議長)・井上謙介(久留米市教育長)・鳩山二郎(衆議院議員)代理出席(秘書)・高山喜一郎(親族)・

内野博夫(久留米連合文化会会長)・柴尾俊哉(観光コンベンション国際交流協会理事)・西村信二(久留米文化振興会常務理事)・深山和義(山本校区振興会会長)・絹笠順一(久留米文化推進協議会会長)・荒木康博(青木繁旧居保存会会長)・井上泰三(久留米連合文化会美術部門代表)・青木耕生(親族)

3、祭文、原口新五(久留米市長)
4、献歌、山本小学校3年生児童による青木繁研究発表、
「母います国」合唱

5、献花、関靖子(久留米連合文化会華道部)
6、献茶、田中宗俊(久留米連合文化会茶道部)
7、献書、堤裕子(久留米連合文化会書道部)
8、献句、吉田いすみ(久留米連合文化会俳句部)
平田志津(久留米連合文化会川柳部)
9、献歌、生津郁子(久留米連合文化会短歌部)
10、主催者挨拶

内野博夫(久留米連合文化会会長)
11、地元代表挨拶
深山和義(山本校区振興会会長)
12、親族代表挨拶、高山喜一郎
13、閉祭の言葉



祭式が終わると参列者に昼食、かつぱ酒がふるまわれ、160人余りの参列者の中には青木繁のドキュメンタリー映像を製作中の関係者も含まれていました。そして、青竹の芳香と日本酒の酔いにたゆたいながら談笑する参加者の親睦と笑い声の中、けしけし祭りはつつがなく閉会しました。

前の年の春の、のんびりとした陽だまりの中、森林公園から兜山までの道すがら、「テッペンカケタカ」と聞こえていた鳥の鳴き声は聞こえず、雨に濡れた泥に足をとられることもなく、この世の怨恨と憤懣と呪詛とを呑み込んだ、「大いなる祝祭」はこうして復活を果たしました。

(広報委員会)

令和5年度 定期総会を終えて

久留米連合文化会会長 内野 博夫

ようやく、新型コロナウイルス感染症の流行も収束の兆しを見せ始め、5類への移行が決定したこともあり、近年になく多くの会員の皆様のご参加の中、総会として4年ぶりの受賞記念祝賀会を無事開催できたことは喜びに絶えません。また、橋本久留米市副市長、田中久留米市議会副議長、絹笠文化推進協議会会長をはじめ多くのご来賓の方々に御出席いただいたこと、誠に感謝申し上げます。

努力もあり、連文に残っていた有志の皆さんにつきましても、文化交流部として舞台芸術部門で活躍していただくこととなりました。

これからの連文は、古くからある伝統を尊重し、それを支えてこられた方々に敬意を表しつつ、若い方々を中心に新しく生まれている文化の潮流と手を握り合い、新たな流れを創造していく努力こそが久留米連合文化会の未来を切り開くことになると思います。

総会では、第1号議案・昨年度の事業報告並びに決算の承認、第2号議案・本年度の事業計画並びに予算の承認、第3号議案・規約改正、第4号議案・役員改選、報告事項・人事案件と順調に承認を戴くことができました。なかでもここ数年、懸案事項でありました総合文化部門については、企画運営委員会の皆様のご

私たちが芸術文化に携わるものは、ジャンルは同じであっても考え方や、目指すものや手法はそれぞれ異なります、しかしそれに携わるものだからこそ、その違いを理解し合い、多様性の中から素晴らしい文化の花を開かせる事ができるのではないのでしょうか。

この久留米には、久留米市美術館、石橋文化ホール、久留米シテイプラザをはじめとして、私たちの活動を展開できる多くの施設が存在します。会員の皆さんの熱意ある活動と、この恵まれた環境を有効に活用することが、久留米連合文化会の益々の発展を約束するものだと思います。

社会が平常に戻りつつある中、会員の皆様のご健康とさらなるご活躍を祈念いたします。

令和5年度 定期総会

令和5年度の連文定期総会が5月27日(土)午前10時より創世にて約150名を越える会員の出席で開催されました。

第1号議案 令和4年度久留米連合文化会事業報告並びに決算承認について

第2号議案 令和5年度久留米連合文化会事業計画並びに予算(案)について

第3号議案 規約改正(案)について

第4号議案 役員改選(案)について
提案・審議がなされ、いずれも原案どおり可決・承認がなされました。

表彰式では、連文功労賞3名、第70号久留米文学賞1名、会員美術展連文会員賞11名、舞台芸術・華道・茶道部門連文会員賞6名、永年50年・永年30年表彰者それぞれ1名が表彰されました。

最後に令和4年度入会者31名の新入会員の方を紹介し無事総会が終了しました。

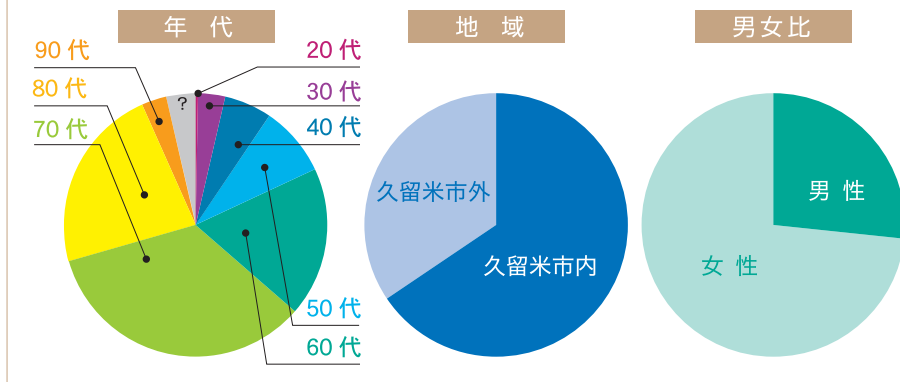
同日12時から受賞記念祝賀会が開催され、久留米市芸術奨励賞・小森博之彫刻部)さん、垣松沙季(ステージ文化部)さん、野田弘樹(書画文化部)さん達を祝う宴が開催されました。

橋本副市長をはじめ来賓の方もお祝いに来ていただき、また盛大かつにぎやかな雰囲気でした。

(事務局)

久留米連合文化会会員の構成

*2023.5.27現在(480名) [令和5年度総会資料より]



会員数は5月時点で480名と、700人前後が在籍していた頃に比べるとかなり減少している。また、70年を越す歴史の中で文化団体としての権威を保っているが、特に近年は高齢化が顕著である。活力ある文化活動を標榜するとき、やはり若い芸術家の参加を促したいものである。(広報委員会・今村好典)

第46回連文書道部書作家展

令和5年1月11日(水)～15日(日)まで久留米市美術館1階ギャラリーにて、書道部50名による書作家展を開催しました。「親しみやすい書」をテーマに、有名な詩歌や童謡、馴染み深い熟語など様々なものを漢字、かな、篆刻等で表現した作品約130点を展示しました。

久しぶりの書作家展開催ということもあり、期待と不安が入り混じるなか臨みましたが、5日間で約1000名という多くの方にご鑑賞いただくことができました。

来場者からは「思わず口ずさみたくなった」「迫力のある字に圧倒された」などという声が聞かれ、書を通じた貴重な交流が出来ました。今後も多くの方に書を身近に感じていただき、楽しんでもらえるような作品づくり等に取り組んでいきたいと思っております。

(書道部・伊藤花珠)



第50回久留米謡曲連盟 謡曲大会

令和5年1月22日(日)、久留米シティプラザ久留米座に於いて開催しました。昭和47年に結成され、本年度50回と記念すべき大会となりました。久留米謡曲連盟謡曲大会は能楽5流派によるわが国が誇る伝統文化である謡曲の普及と発展と会員の人格向上、相互の親睦を目的として活動してまいりました。

久留米シティプラザ久留米座に能舞台が設営され、多数のご来場をいただき大成功に終わりました。

(謡曲部・佐藤孝典)



第68回茶道部大茶会

令和5年2月19日(日)、久留米シティプラザ4F和室・中会議室、5F大会議室各会場にてコロナ禍を挟んで4年振りのお茶会を開催出来た。

この日を楽しみにされていた久留米市近郊の方々。300名を超えるお客様の「美味しいわ」とお菓子とお茶をゆつくりと味わってひと時を楽しまれた。やっと戻って来つつある日常の非日常の時間が、持てる事に感謝した一日でした。

(茶道部・北川陽泉)



新事務局のご紹介

令和5年5月1日より園井正隆事務局長が就任し、竹下さおり事務員と2人体制になりました。

中井前事務局長、稲毛事務主任は5月末日で退職されました。

第16回連文工芸部作品展

令和5年5月9日(火)から14日(日)かけて、久留米市一番街多目的ギャラリーにて「第16回工芸部会員作品展」を開催しました。出展者は計15名来場者は6日間で計215人でした。雨日和の中でしたが、昨年よりも来館者が増えた事は、私たちにとっても大きな励みとなりました。これからも皆様に楽しんでいただけるよう精進して参ります。

(工芸部・廣藤圭)



第59回久留米短歌大会

令和5年5月28日(日)、石橋文化会館小ホールで開催しました。

応募者155名、応募詠草352首でした。開会式後、特選者6名の表彰式、選者による歌評会、そのあと講師の藤野早苗先生による演題「短歌の効用」私たちはなぜ歌を詠むのか」の講演をしていただき、参加者は熱心に拝聴していました。



また、開会式に於いては久留米連合文化会から内野会長、隈副会長、園井事務局長も出席いただきました。また西日本新聞社久留米総局より今井副局長様のご来賓としてご出席いただき来賓挨拶並びに、特選者の表彰をしていただきました。

大変お忙しいなかを御来賓としてお越し下さり深く感謝申し上げます。



藤野早苗先生

特選者は次のとおりです。

久留米市長賞 大津留直(うきは市)
浅春の三日月の鋭き鑿先に触れて小面
息づきはじむ

久留米市議会議長賞 青木佳代子(八女郡)
いつの間に磐井の君がついて来る古墳
の森に落葉ふむ音

久留米市教育委員会賞 原口まちこ(久留米市)
はららきらひららきらきら春の雪ふる
へつつ降るひかりつつ降る

久留米文化推進協議会賞 井寺容子(筑後市)
此処からがさあカデンツア春がきて腫
瘍外来八年を過ぐ

西日本新聞社賞 梅埜 國夫(福屋郡)
父親を疎ましと思ふ年頃の娘と父が仲
良くマイクに
西日本新聞社賞 高添 芳子(福岡市)

子等の為夢を夢にて終らせし父の回想
の空青く澄む

(短歌部・田代直美)

創部70周年記念連文デザイン部展

デザイン部は、昭和28年(1953)商業美術部として創部。九州圏内のグラフィックデザイン界、福岡県内ではいち早く発足し活動を続けています。

2023年6月6日(火)～6月11日(日)、福岡県立美術館に於いて「創部70周年記念連文デザイン部展」を開催しました。

2019年1月に久留米市美術館にて「創部65周年記念久留米連合文化会デザイン部展」開催。広く県内の皆さんにご覧いただきたいと2020年に福岡県立美術館で巡回展を企画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされました。コロナ禍の4年間を経て内容を再構成しより充実した形で開催に漕ぎ着けました。



テーマ作品と代表作品約70点、物故者(檜枝泉秀氏・井上明氏・納戸健次氏)作品35点、デザイン部70年のあゆみを新旧織り交ぜ約100点を展示し、昭和・平成・令和の時代背景や価値観を反映したテーマ、表現や技法、デザインの変遷をたどる構成としました。

テーマは「Gift」。先人から受け継いだもの、未来に托すメッセージ等それぞれの視点で考えた「贈り物」を作品にしました。また古新聞紙でエコバッグ約200点を共同制作しインスタレーション・アートとして展示しました。

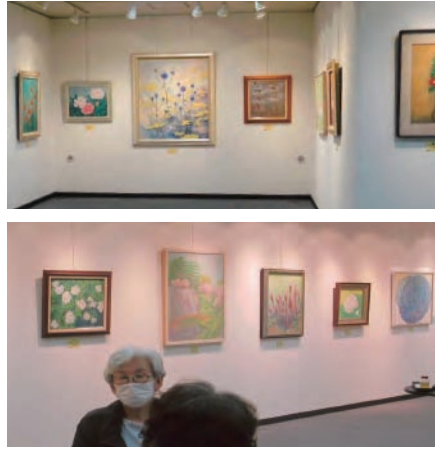
コロナ5類移行後、対面での展覧会は、来場された方と直接、作品の評価をもらう貴重な機会となりました。

開催にあたりご協力、ご来場いただいた皆さまに感謝申し上げます。

(デザイン部・吉本暢子)

第4回 連文日本画部展

5月30日(火)より6月4日(日)久留米市一番街多目的でギャラリー於いて、コロナのため中断していた日本画部展を5年振りに第4回展を行いました。



部員が6、7名と減少、加えて高齢化が進んでおりますが、部員一同、心を込めた作品で、個性と親しみ易い部展と成りました。観覧者から絵の具への関心が高く、次回はそのことも踏まえた部展にしたいと思えます。(日本画部・小川寿)

水墨画部スケッチ旅行

6月11日(日)、会員が参加者しやすいよう近くの篠山城でスケッチ会をしました。新緑が美しく天候にも恵まれ、背振山を背景に筑後川も一望でき、清々しいスケッチ会でした。会員の親睦・交流もでき、楽しい一日を過ごしました。

(水墨画部・古賀利恵)

第57回 仲縄忌俳句大会

6月27日(火)は、寛政の三奇人の一人、高山彦九郎の命日であり、墓所のある遍照院での法要の後、野中町生涯学習センターにて俳句会を行いました。

コロナ感染症が五類となり、参拝者も市関係・文化関係の方が揃い、コロナ以前の法要に戻りました。

梅雨特有の暑さの中でしたが、法要を待つ間の久留米文化連合会茶道部のお干菓子とお抹茶の接待、また、その所作には涼しさを感じたものです。

俳句会の参加者は、まず、墓所や遍照院庭園を吟行しました。咲き初めの萩や木々の緑、様々な虫を見たり、俳句部の為(ため)に振花(ふりばな)を刈(刈)らずに残して下さる園丁(えんてい)の気遣いを感じたり、彦九郎に思いを伝えながら、句を作り句会に挑みました。

また、今年から、「仲縄忌」を久留米の大切な日として、この地では季題(季語)とする事に致しました。



選者三名の特選句(◎)佳作句は次の通りです。

◎ 彦九郎の無念払はん青風
大力妙子選

もじずりに忌日重ねて老いにけり
矢野愛子

彦九郎今日は命日蓮ひらく
里村美枝子

◎ 住む街の誇りのひとつ仲縄忌
宮崎みゆき選
平岡清志

又一つ維新の知識仲縄忌
野口桂子
今朝の雨いつきに晴れて仲縄忌
中尾笑美香

◎ 梅雨晴の祈り届きぬ仲縄忌
吉田いずみ選
弓削美和子
青風読経の声の聞きつらく
宮崎みゆき

志士の忌や量感を増す梅雨の木々
野口桂子
(俳句部・吉田いずみ)

中高生への浴衣の着付けと日本舞踊体験講座

7月23日(日)および30日(日)、久留米シティプラザの和室(長盛)にて開催しました。今回は久留米市内の中高生対象の、浴衣の着付けと日本舞踊の体験講座です。

講座を通して、日本の民族衣装である着物を自分で着付け、日本舞踊を体験することにより、着物を着た時の美しい立ち居振る舞いを学ぶ。少しでも多くの若い方々に、国際社会となった今、日本人として自国の文化のひとつである日本舞踊を知り、世界が求める日本らしさを身につけるきっかけになればと企画いたしました。

(日本舞踊部・藤間勲志龍)



第34回宇宙および科学の国際シンポジウム(ISTS) 福岡 久留米大会でのお呈茶でのおもてなし

6月5日(月)～8日(木)、久留米シティプラザ4F和室にてお呈茶でのおもてなしを行いました。

一般社団法人 日本航空宇宙学会(主催)の事務局より久留米シティプラザの和室にての海外の研究者の方々へ日本の伝統文化のお呈茶でのおもてなしをしたいとご依頼があった。

日替わりでお抹茶4流(裏千家、江戸千家、表千家、白流、大日本茶道学会)にてとらや菓子舗の練り切りの和菓子と星野の抹茶にてのお呈茶。和室での各流のしつらえに目で見、さらに味わったお茶とお菓子に舌鼓を打たれ和やかに、にこやかに、4日間は閉会となった。(茶道部・北川陽泉)



久留米児童合唱団

第51回定期演奏会

5月4日(祝)、文化センターに薔薇が色鮮やかに香るみどりの日、久留米児童合唱団第51回定期演奏会を文化ホールにて開催致しました。今回は『フォスターメドレー』や『合唱ミュージカルながつねこ』などを演奏しました。



今回最も幸せを感じたのは、マスクをせず子どもたちの笑顔と歌声を全てお客様に届けられたことでした。たくさんのことを我慢してきた子どもたちがようやく本当の生き生きとした表情で心から音楽を楽しむことのできた演奏会となりました。(洋楽部・堤由希子)

第80回水彩連盟展文部科学大臣賞受賞記念 宇美絵画教室合同展

2021年春に国立新美術館(東京・六本木)で開催されました第80回記念水彩連盟展にて文部科学大臣賞を受賞して以来、記念の教室展開催の計画していましたが、コロナの感染拡大の度に見送りとなくなっていました。

遂に収束の兆しが見え始めた今年の3月中旬に久留米市美術館で開催の念願が叶いました。

文部科学大臣賞受賞作品を始め、カナ夕留米時代の作品、過去美術展出品作品などの自作品約65点と絵画教室生徒作品約135点の計約200点とかなり充実した展示となり、来場者も5日間で約1100名を数える結果となり、自分、教室生徒にとっても次へと繋がる節目となりました。

この場をお借りして、後援下さった久留米連合文化会、ご来場下さった会員の方々に改めて厚くお礼を申し上げます。今後とも指導、ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します。



(洋画部・宇美拓哉)

第72回久留米市総合美術展

アートレクチャーの試み

久留米連合文化会主力事業の一つである久留米市総合美術展ですが、出品数が年々減少傾向にあります。何か対策が出来ないかと青年部委員会美術部門内で考え、美術展の魅力向上を目的として今年度の第72回久留米市総合美術展から「アートレクチャー事業」を実施致します。

美術展会場内の来場者に向けて、各々の会期内で自作品の解説や作品制作の過程、裏話などをお伝えすることで、美術作品への関心をより深めてもらい、作品制作や美術展出品に繋がる糸口となればと考えています。これから「アートレクチャー事業」のチラシも制作、配布いたしますので、広報や周知へのご協力を宜しくお願い致します。(青年部委員会委員長・宇美拓哉)

◎日誌◎報告 2023年(令和5年) 1月～7月 report

- 第49回連文書道部書作家展 1/11(水)～1/15(日)・久留米市美術館 1階
- 第50回久留米謡曲連盟謡曲大会 1/22(日)・久留米シティプラザ 久留米座
- 初釜茶会(大日本茶道学会久留米支部) 1/22(日)・国分寺(久留米市宮ノ陣)
- 第21回ジュニア青木繁展(Web展示) 2/1(水)～2/28(火)・久留米連合文化会HP
- 三小田眞智子個展(テッサン・フランス) 2/15(水)～2/19(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 第68回久留米連合文化会茶道部大茶会 2/19(日)・久留米シティプラザ 4F・5F
- 元谷京子書作家展(L・アドバイザーロビー展) 3/7(火)～3/31(金)・筑邦銀行本店 ロビー
- 利休忘茶会(大日本茶道学会久留米支部) 3/12(日)・国分寺
- 第80回水彩連盟展文部科学大臣賞受賞記念
宇美絵画教室合同展 3/15(水)～3/19(日)・久留米市美術館 1階
- 利休忘茶会(裏千家淡交会久留米支部) 3/19(日)・よしの園
- けしけし祭 3/26(日)・かぶと山
- 第41回水墨画心象会展 3/28(火)～4/2(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 久留米歌壇第39集発行 4/1(土) 発行
- 第5回緑人会写真展 4/4(火)～4/9(日)・えるピア久留米市民ギャラリー
- 池坊福岡県連合支部 4/7(金)～4/10(日)・久留米シティプラザ 展示室
- 玉垂宮献茶(表千家不白流九州支部) 4/9(日)・玉垂宮
- 久留米文学第70号発行 5/1(日) 発行
- 水天宮献茶 5/3(水)・水天宮
- 久留米児童合唱団第51回定期演奏会 5/4(木)・石橋文化ホール
- 第16回工芸部作品展 5/9(火)～5/14(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 福岡地区研修会(大日本茶道学会久留米支部) 5/14(日)・大濠公園日本庭園
- 令和5年度連文定期総会・祝賀会 5/27(土)・ホテルマリタール創世
- 第59回久留米短歌大会 5/28(日)・石橋文化会館 小ホール
- 第4回日本画部展 5/30(火)～6/4(日)・久留米市一番街多目的ギャラリー
- 第34回宇宙および科学の国際シンポジウム
(STS)福岡・久留米大会でのお呈茶 6/5(月)～6/8(木)・久留米シティプラザ 4F和室
- 創部70周年記念連文デザイン部展 6/6(火)～6/11(日)・福岡県立美術館
- 山中美恵子 第2回「懐古」写真展 6/22(木)～6/30(金)・カフェスタジオ言の葉(福岡市)
- 第57回仲縄忌俳句大会 6/27(火)・野中生涯学習センター
- 仲縄忌供茶(裏千家淡交会久留米支部) 6/27(火)・遍照院
- JR久留米駅生け花展示(小原流・草月流・嵯峨御流/毎週交代) 通年・JR久留米駅構内

◎芸術散策◎行事のお知らせ 2023年(令和5年) 8月～12月 information

- 水天宮献茶(表千家不白流九州支部) 8/6(土)・水天宮
- フジタバレエ第36回バレエリサイタル
「ドンキホーテ」 8/20(日)・久留米シティプラザ・グランドホール
- 第42回会員華道展 9/15(金)～9/18(日)・久留米ピージェイガーデン 岩田屋678エレベーター前
- 久留米市芸術奨励賞受賞記念 かな書道三人展 9/20(水)～9/24(日)・久留米市美術館 1階
- 第69回茶道部大茶会 9/24(日)・久留米シティプラザ 4F・5F
- 観月茶会(裏千家淡交会) 9/30(土)・久留米シティプラザ 六角堂広場
- 青木繁旧居「お茶を楽しむ会」(江戸千家) 10月予定・青木繁旧居
- 江戸千家改編30周年記念事業茶会・祝賀会 10/8(日)・梅林寺(茶会) 萃香園(祝賀会)
- 高良大社献茶(表千家不白流九州支部) 10/10(火)・高良大社
- 第72回久留米市総合美術展 10/11(水)～10/29(日)・久留米市美術館 1階
- 第52回会員美術展 10/11(水)～10/29(日)・久留米市美術館 1階
- 上下水道フェア(大日本茶道学会) 10/21(土)・南部浄化センター
- 田中健と児童合唱団のジョイントコンサート
「ケーナの響きと共に」 10/22(日)・石橋文化ホール
- 日吉神社献茶(表千家不白流九州支部) 11/11(土)・日吉神社
- 第75回久留米市茶道連合会法要大茶会 11/12(日)・梅林寺
- 第74回西部示現会展 11/14(火)～11/19(日)・久留米市美術館 1階
- 第69回桃青忌俳句大会 11/18(土)・御井校区コミュニティセンター
- 川島幹夫 写真展「水ごころ」 11/24(金)～11/28(火)・えるピア久留米 市民ギャラリー
- ドクターポンプン
アートであそぼう！ 11/26(日)・久留米シティプラザ 久留米座
- 第30回賢順記念全国箏曲祭 12/3(日)・石橋文化ホール
- 第68回助け合い茶会 12/10(日)・久留米シティプラザ
- 第22回ジュニア青木繁展(公募・搬入) 12/11(月)～12/15(金)・久留米連合文化会事務局
- JR久留米駅生け花展示(小原流・草月流・嵯峨御流/毎週交代) 通年・JR久留米駅構内
- 訃報(令和5年1月～7月) 謹んでご冥福をお祈り致します。
- 高巢 桂太郎さん (彫刻部) 令和4年8月20日
- 井内 寛娟さん (水墨画部) 令和5年3月3日

